



国際ロータリー第2730地区
佐土原ロータリークラブ
 例会日 毎週金曜日 12:30-13:30
 例会場 ホテル神宮寺 0985-73-0015

自分を越えた眼を Look Beyond Yourself

ラジェンドラ・K. サブー
 1991~1992年度 R I 会長

ロータリー理解推進月間

1992. 1. 10 (金) 第204回例会
1. 点 鐘
 2. 国歌斉唱
 3. ロータリーソング「それこそロータリー」
 4. 「四つのテスト」唱和
 5. 会長の時間
 6. 幹事報告
 7. 各委員会報告
 8. 点 鐘
- 新年家族懇親会（ひろげよう 友の輪）

第203回例会記録 (1991. 12. 20)

会長の時間 **濱田 松太郎**
 皆さん今日は、本日は第203回例会です。
 1991年最終の例会でもあります。
 昨19日は第2回親善ゴルフコンペということで、天候に恵まれ、心ゆくまで楽しいプレーの裡にも、ロータリー最大の要点でもあります親睦の輪がさらに拡大しましたことを喜びます
 さて、この1年間を振り返ってみますと、内外共に多事多難な年でございます、先ず海外に眼を向けますなら、イラクのクウェート占領に始まった湾岸戦争は、年明け早々に開戦、終戦まで約1ヶ月を要し、世界を不安の中に陥れると共に、平和ということがいかに尊いものであるかを思い知らされたわけです。
 「ロータリーの、世界平和に寄与する」ということとはうらはらに、イラクのフセインがもしロータリアンであったなら、こんな無謀なこ

とはしなかったらと残念に思います。
 そして8月に入りますと、ソ連におきまして反動派によるクーデターが発生しましたが、エリツィンを主体にソ連国民の防衛が効を奏し、クーデターは失敗しました。以降今日に至るまでに、バルト3国をはじめロシア・白ロシア・ウクライナ等各個に独立の兆しが表面化し、完全にソ連邦の解体、70余年に及んだ共産主義の消滅、そして民主主義への転向に拍車がかかったようです。ただ気がかりなのは、核の問題をめぐってどのように今後取扱われるかで、世界中が齊しく注目しているところです。

一方我が国におきましては、これまで高度経済成長を遂げて参りましたが、バブルがはじけて、これを四大証券が巨額の損失補填をしたことを第1番に挙げる事ができます。

次いで2月でしたか、福井県にあります関西電力美浜原発2号機で、蒸気発生器の伝熱細管の一つが破断し、放射能を帯びた一次冷却水が二次系に漏出したため、緊急炉心冷却装置が作動するという、我が国では初めての重大な事故がありました。かってソ連においてチェルノブイリの原発事故は、思い出しても本当にゾッとします。

4月に入りますと、「肉牛」の自由化となり、次いで「米」市場の開放と自由化をめぐって、今後の日本農業の在り方に一段と厳しさが増そうとしております。

昨年11月から噴火をくり返している雲仙菅賢岳は、これまで1年以上にわたって燃え続け

6月には遂に大規模な火砕流が発生、民家が約180戸、住民43名が罹災、死亡し、未だに2千世帯、8千人の人々が避難生活を強いられている現状です。本当に気の毒なことであります。どうか一日も早く岳の怒りが解けて静まることを祈る気持で一杯です。

このほかにも沢山なことがありますが、省略させていただきます。

さて、私の年度も漸く本日をもちまして半年を迎えることになりましたが、これまで皆様方から寄せられました力強いご声援によりまして、どうか平穩に過ごすことができましたことを感謝申し上げますと共に、残された半年をより以上なものにと念願しております。この点皆様のご指導とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。しかし、よくこの半年を考えてみますと、R1サブ会長の提唱されました本年度テーマ「自分を越えた眼を」の域に全然達していない佐土原ロータリークラブとして、又はロータリアンとして、何かを「やりなさい」との要請がたびたび参るのですが、実を言いますと、今だに試行錯誤の今日この頃でございます。

つきましては、この点に関しましては広く皆様方からお智恵を提出していただき、直ちに理事会にはかり、「ロータリアンとしてできることから一つでもよい、二つでもよい、実現可能なものにして行きたい」と考えているところであります。

参考のために

- 宮崎北RC、鳥の巣箱100個を神宮の森へ備え付けた。(インターアクトと)
- 西都RC 実の生る木(モモ・サクランボ・クリ・カキ)をサイクリング街道へ植樹

さて、このたび会員猿渡篤彦君が、健康上の理由で退会したいとの申し出がありまして、ご本人によくお聴きしましたところ、やむを得ない事情がございましたので、退会を承認するこ

にしました。

猿渡君は、一昨年1月入会以来、社会奉仕委員長としてよく責務を全うされ、今年3月には西都RCをホストに開催されましたインター・シティー・ミーティングの折りには、社会奉仕部門におきまして当クラブのカウンセラーとしてご活躍されるなど、本当に佐土原RCのためご尽力くださいました。

心から厚くお礼申し上げます。

向寒の折り、どうぞ療養専一にご留意され、一日も早くご快復のうえ、再加入につきましてよろしくお願い申し上げます。

年の始めは、会員増強にはずみがつく時機でもあります。ロータリアンとして推薦してもよいと思われる方がおられましたら、どしどし情報を提供くださるよう切にお願い申し上げます。

年末になると交通量が多くなり、忙しくなったり、飲酒の機会も増える等、交通事故発生の引金になりかねません。お互い注意して新しい年を迎え、元気に再会されんことをお願い申し上げます。

幹事報告

鈴木正敏

本日ガバナー通信No.6をお届けしましたが、P20「フィリピン台風災害救援金」会員1人200円、P22「バングラデシュ・サイクロン避難、識学教育教場用多目的シェルター建設資金」会員1人1000円を、12月28日にガバナー事務局へ送金しましたので、ご了承くださいますようお願いいたします。

出席報告	委員長	神宮寺 利 夫
会 員 数		19名
欠 席 者 数		1名
H C 出席者数		18名
出 席 率	94.74%	
欠 席 者	井下	

親睦委員会より 委員長 齊藤 敦馬

昨19日座論梅ゴルフクラブにおいて8名(池田仁志君・池田英治君・藤堂孝一君・岩切正司君・郡司武俊君・神宮寺利夫君・鈴木正敏君と齊藤)が参加し、午前8時12分スタート第2回佐土原ロータリー・クラブゴルフコンペを行いました。成績は次のとおりでした。

優勝	池田 仁志	76
2位	郡司 武俊	78
3位	岩切 正司	80
ニヤビン賞	齊藤 敦馬	
ドラゴン賞	郡司・齊藤	

優勝された池田仁志君には優勝カップを、2位郡司武俊君、3位岩切正司君、ニヤビン賞を齊藤敦馬君、ドラゴン賞を郡司君・齊藤君、そして参加賞を全員に、それぞれ会長から贈呈しました。

※優勝者池田仁志君の新ハンディは9になります。

会計より 藤堂 孝一

今年1月～12月までのハッピーボックスの合計金額は¥92,936に達していました皆さんのご協力に感謝いたします。

会長より 濱田 松太郎

年次総会で未決定となっていました、次年度各委員会委員長が、本日次のように選出されましたので報告いたします。

○クラブ奉仕委員長	佐野 保
○社会奉仕委員長	岩切 高明
○職業奉仕委員長	柳田 光寛
○国際奉仕委員長	鈴木 正敏
○SAA	田村 勝二
○ロータリー財団委員長	濱田 松太郎
○情報委員長	垂水 敏雄

会員卓話 神宮寺 利夫君

昨日(12月19日)行われました佐土原RCゴルフ大会に参加させていただきました。

当日は朝5時に起床しましたが、丁度蓮光寺の鐘がゴォーンと鳴り始めまして、今朝の鐘の音はなかなか激しいなあ、岩切正司会員は張切っているなあと思いました。

朝風呂で身を清め、今日こそは上位にくだみたいとの意気込みで出発しました。ところが道路がたまたま工事中で、結局遠廻りして、5分ほど遅れて座論梅ゴルフクラブに着きました。

これはいけない、調子が悪いぞと考えながらプレーに移ったわけです。先ず第1打がわずか50m先に落ち、これじゃ今日は駄目だなと思いました。あせればあせるほど球が外れ、ああやはりこれは練習している人と、していない人との差だとなつくづく思い知らされました。

次回は練習をして、皆さんに恥しくない、せめて7位ぐらいにはなりたいと思いながら、全コースを終わりました。

私の職業は旅館業という特殊な商売をしています。飲食業の部類に包含されるといわれます。

昨年町の文化祭では、久峰運動公園において、岩下広蔵という有名人がいろいろリサイクルを行うということで、町の要請もありまして私共飲食業組合も参加することになりました。

クシ焼き、うどん、ヤキイカの販売を計画しました。私たちの露店は一番場所の悪いところでしたが、まあよからうじゃないかと店を開きました。しかし、第1日目の売上げはみじめなものでした。これではいけないと思って、私はジュースの販売を加えましたが、初日は約三百本だけで店を閉じました。

2日目は町の方で「朝市」を計画しました。朝市というのは、人間はやはり新鮮なものを買う心理でしょうか、すごい人の群れてました。

私も組合員に総動員をかけ、一所懸命に販売に努めました。おかげをもちまして、2日目に

は目標の売上高をオーバーすることができました。組合員の皆さん80名の方が3時間交替で参加していただき、町の文化祭をなんとか盛り上げようとの意気込みで、和やかな雰囲気の中に頑張っていたいただいたことを、本当にありがたかった次第です。

その後直ぐ沖縄研修旅行を計画しました。当日宮崎空港に8時30分に集合しましたが、沖縄便は14時で、その間組合の参加者を掌握しておくのが大変でした。果して、出発時間が近づいても数名の組合員が見当りません。あちらこちら探したあげく、ちゃんと入口付近で昼寝しているのがわかりました。会長が注意しますと、お詫びのしるしにといってお詫びの吹くのでした。それがあったからこそ皆さんの腹立ちも鎮まったのでしょうか。

沖縄でのホテルは県庁の前のホテルで、メインストリートにありましたので、宴会の後は近くのスナックの視察にくり出したわけです。

翌朝の話では、昨夜外出してアジを1尾食べた1500円もした、イワシが800円もした、ということ、どうしてそんなに高いのだろうかと考えてみますと、沖縄はアジとかイワシは全然とれず、本土から全部取り寄せるので、運搬費が高いからだということになります。

人間妙なもので、安い魚はあまりうまいと思いませんが、高い値段を聞いた途端に、この魚はおいしいわいと思う気になったそうです。

私たちの商売は夫婦でやっている店が多いので、2泊という旅行はなかなかできません。ですから、どこに行くにしても1泊というのが前提になります。佐野前会長や濱田会長から、外国旅行のお話を聞いておりますが、私共にとりましては、沖縄に行ったのはアジアを廻ってきたような気分になりました。私の組合で初めての海外旅行ができましたのは、最高の楽しいことでした。

1月10日の新年家族懇親会には、愛妻や子どもさんを連れてきていただき、和気あいあいと新しい年の出発を祝い、会員増強にみんな

励みたいと私は考えています。

佐土原通所福祉作業所運営の概要

所長 金丸 樹一 先生

1.本事業の目的・今後の方向

ちえ遅れであるがために、学齢期を超えても適当な職がなく、また、一度就職しても途中で種々の事情により退職せざるを得なくなり、家庭で空しい日々を過ごしている者が本町内にも70名はいると推定される。これらの人たちの自立を目指して、昭和62年4月26日、行政や福祉関係当局、並びに地域のご理解により、福祉作業所が開設され、現在10名が在籍、うち8名が指導員やボランティアと地域の人々の協力により、土・日曜日を除く毎日、作業訓練を試みている。現在、町・県・国の補助を受けているが、来年度(平成4年4月)より国の補助が打ち切られるのに伴い、県の補助も削減されるので、今後の在り様がきびしく問われることになる。むろん父母の負担金の増額も考えねばならないが、同時に運営に新たな工夫創造が求められているところでもある。

2.作業種目

先月(11月)までは椎茸の茎取りの委託もあったが、現在は、設立当時より続けている接電用コイル不合格品の解体を軸に、月2回の焼物づくり、月1回の廃油石けんづくり、月1回(平均)の農作業に取り組んでいる。

3.主な年行事

各所員の誕生会・年3~4回の買物訓練・他施設との交流(昨年は日向市の白浜学園、平成3年は都城市のなのはな村、例年一ツ瀬病院の行事に参加)・そのほか年2~3回の社会見学(他施設との交流も含め、他市町村の主なところを訪問する)・年1回のキャンプや遠足・ふれあいと友情の体育祭への参加・毎月の定例父母会、など。

◎当作業所の作業台・事務机・キャビネット1式を佐土原クラブよりご寄贈いただき、どれだけ元気づけられているかはかり知れないものがあります。(以上要点のみ掲載)